

平成18年度胃がん疫学調査成績

表1 保健所別胃がん発見率と早期がん率

保健所名	性別		深達度		発見胃がん計	受診者数	がん発見率	早期がん率
	男	女	進行	早期				
村上	12	4	9	7	16	8,853	0.181	43.8
新発田	25	9	7	27	34	10,835	0.314	79.4
新津	12	2	4	10	14	5,268	0.266	71.4
三条	30	4	10	24	34	17,924	0.190	70.6
長岡	6	7	5	8	13	11,587	0.112	61.5
魚沼	17	8	7	18	25	9,875	0.253	72.0
南魚沼	12	9	5	16	21	5,838	0.360	76.2
十日町	19	7	5	21	26	7,036	0.370	80.8
柏崎	3	5	2	6	8	5,646	0.142	75.0
上越	16	9	9	16	25	13,827	0.181	64.0
糸魚川	2	1	1	2	3	3,228	0.093	66.7
佐渡	5	2	3	4	7	5,897	0.119	57.1
新潟	22	10	13	19	32	17,185	0.186	59.4
合計	181	77	80	178	258	122,999	0.210	69.0

斜字は県平均よりも高い地域

図3 胃がん累積生存率 (S62~H16年発見) (他病死、死因不明を除く)

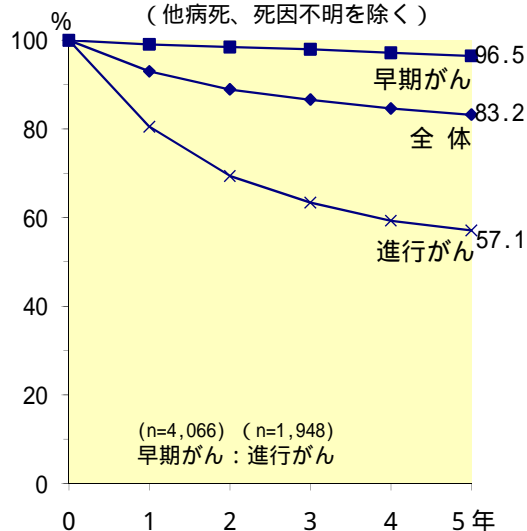


図4 病期別累積生存率 (他病死、死因不明を除く)

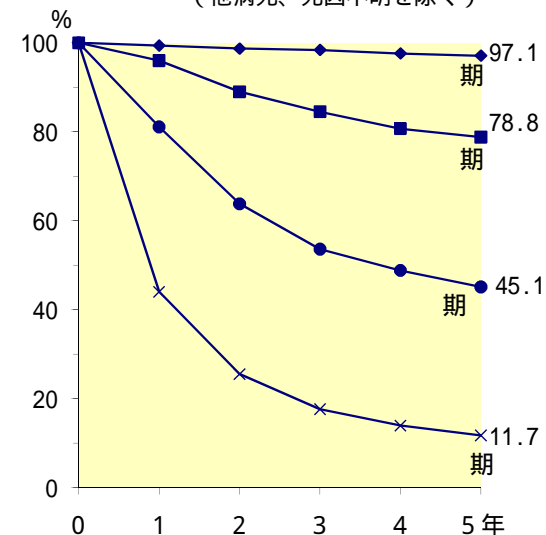


図1 がん発見率と早期がん率の年次推移

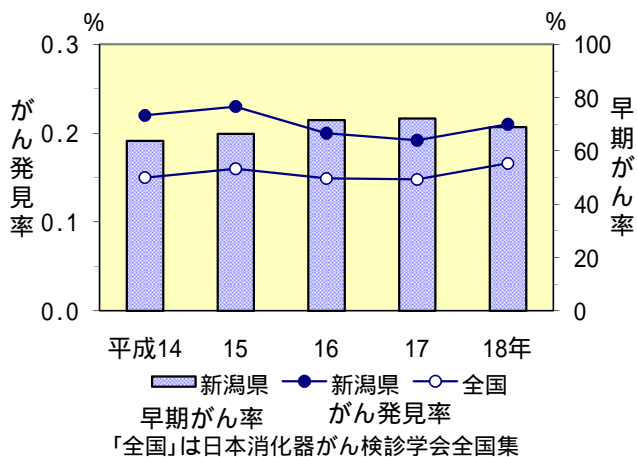
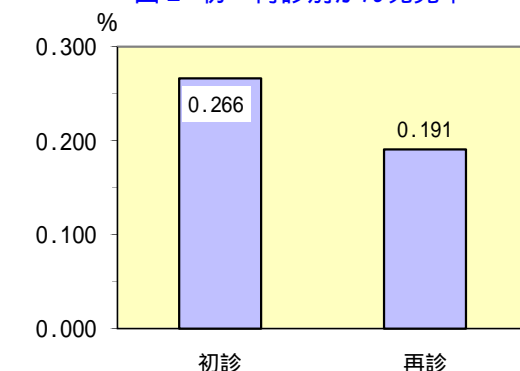


図2 初・再診別がん発見率



胃がんを多く見つけるためには初診者の掘起しが重要。

表2 発見胃がんの予後(S62~H16年発見分)

平成19年12月31日現在

	生存	原病死	他病死	死因不明	転出	不明	計
数	5,023	896	507	127	73	34	6,660
(%)	(75.4)	(13.5)	(7.6)	(1.9)	(1.1)	(0.5)	(100.0)

平成18年度肺がん疫学調査成績

表1 保健所別肺がん発見数と受診者数

保健所名	発見肺がん			受診者数			がん発見率	早期割合
	男	女	計	男	女	計		
村上	7	4	11	7,545	11,999	19,544	56.3	72.7
新発田	24	5	29	9,847	18,259	28,106	103.2	75.9
新津	6	0	6	3,691	6,306	9,997	60.0	83.3
三条	17	8	25	12,915	23,200	36,115	69.2	60.0
長岡	12	13	25	9,484	19,311	28,795	86.8	48.0
魚沼	10	5	15	6,893	11,412	18,305	81.9	73.3
南魚沼	3	4	7	4,672	7,431	12,103	57.8	42.9
十日町	9	3	12	5,922	9,351	15,273	78.6	33.3
柏崎	4	3	7	5,745	10,200	15,945	43.9	57.1
上越	23	15	38	8,824	16,838	25,662	148.1	73.7
糸魚川	1	3	4	1,855	3,804	5,659	70.7	100.0
佐渡	9	3	12	5,789	9,029	14,818	81.0	66.7
新潟	22	15	37	7,806	15,305	23,111	160.1	67.6
合計	147	81	228	90,988	162,445	253,433	90.0	65.4

がん発見率は受診者10万人対

図3 肺がん累積生存率 (S63~H16年発見) (他病死、死因不明を除く)

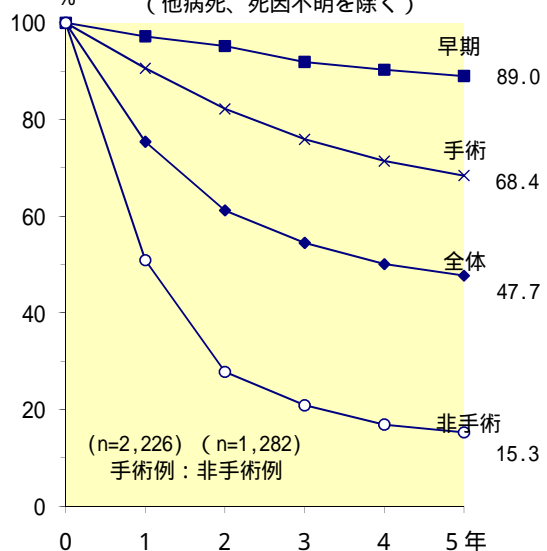
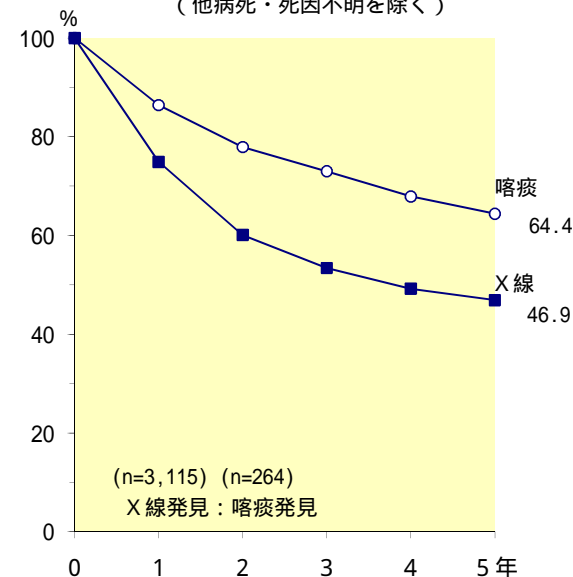


図4 発見方法別累積生存率 (他病死、死因不明を除く)



喀痰細胞診は早期発見が多く、生存率も高い。

図1 がん発見率と早期がん率の推移

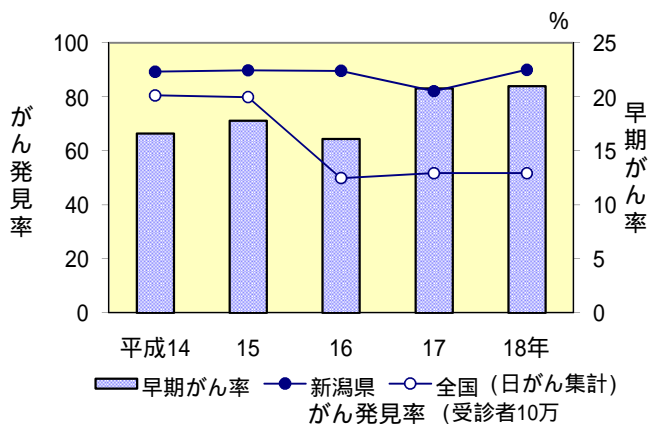


図2 一般群、高危険群別がん発見率 (受診者10万人対)

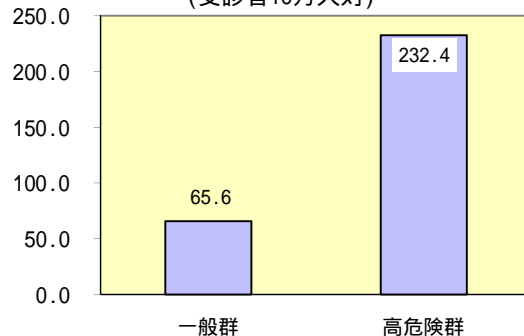


表2 発見肺がんの予後(S63~H16年発見分)

平成19年12月31日現在

	生存	原病死	他病死	死因不明	転出	不明	計
数	1,792	1,616	301	230	52	48	4,039
(%)	(44.4)	(40.0)	(7.5)	(5.7)	(1.3)	(1.2)	(100.0)

平成18年度子宮がん疫学調査成績

表1 保健所別子宮がん発見数と受診者数

保健所名	頸がん		体がん	がん発見数	受診者数	がん発見率
	浸潤	上皮内				
村上新	0	1	0	1	2,295	43.6
上田	0	1	1	2	4,098	48.8
津条	0	2	0	2	2,160	92.6
三長	0	3	3	6	8,277	72.5
魚沼	0	1	0	1	5,615	17.8
南魚沼	1	4	0	5	3,508	142.5
十日町	0	3	0	3	1,807	166.0
柏崎	1	1	0	2	2,185	91.5
上越	0	3	0	3	2,943	101.9
糸魚川	1	4	0	5	9,765	51.2
佐渡	0	1	0	1	1,506	66.4
新潟	1	0	0	1	2,206	45.3
合計	0	0	0	0	13,176	0.0
合計	4	24	4	32	59,541	53.7

がん発見率は受診者10万人対

図1 がん発見率と早期がん率の推移

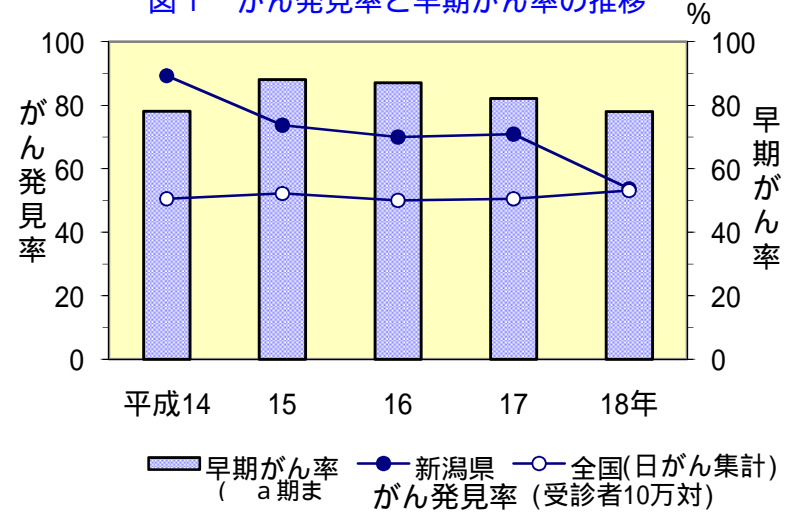
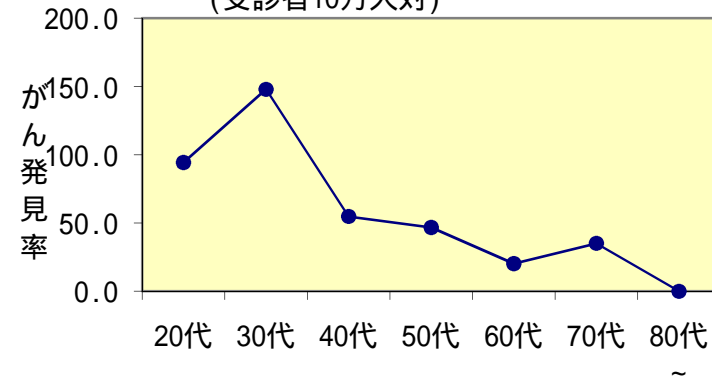


図2 年代別子宮がん発見率 (受診者10万人対)



30代の発見率が高いので、特に若年者への受診勧奨が重要。

平成18年度乳がん疫学調査成績

表1 保健所別乳がん発見数と受診者数

保健所名	がん発見数		受診者数		がん発見率	
	視触診	マンモ併用	視触診	マンモ併用	視触診	マンモ併用
村上新三長魚南十柏上系佐新	-	3	-	2,283	-	0.131
発田津条岡沼日町崎越川渡	-	8	-	2,393	-	0.334
	-	10	-	2,081	-	0.481
	1	9	3,579	4,866	0.028	0.185
	0	15	6	5,082	0.000	0.295
	0	8	168	3,615	0.000	0.221
	2	5	2	1,644	100.000	0.304
	0	7	2	2,202	0.000	0.318
	1	7	449	2,048	0.223	0.342
	9	6	4,547	3,282	0.198	0.183
	0	3	312	1,503	0.000	0.200
	0	2	4	2,046	0.000	0.098
	0	41	2	8,258	0.000	0.497
合計	13	124	9,071	41,303	0.143	0.300

マンモ併用乳がん検診は視触診のみと比べ約2.2倍の発見率である。

図1 がん発見率と早期がん率の推移

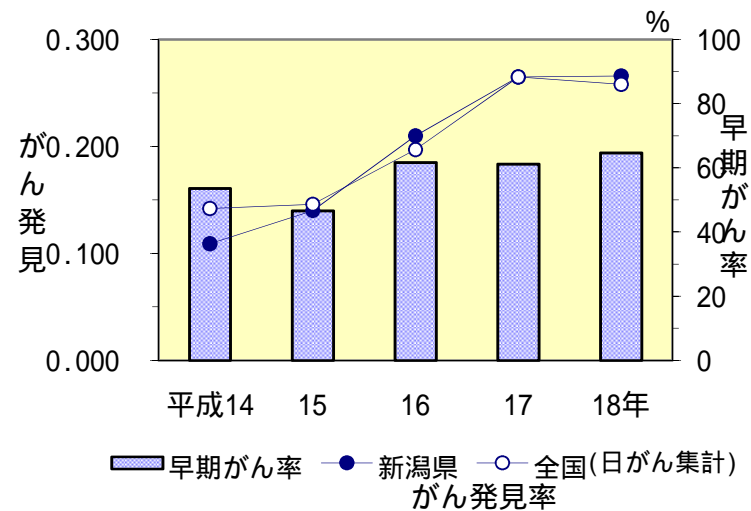
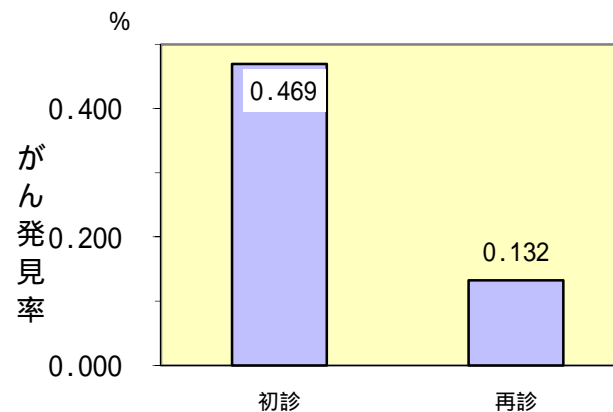


図2 初・再診別がん発見率



平成18年度大腸がん疫学調査成績

表1 保健所別大腸がん発見率と早期がん率

事務所名	性別		深達度		がん発見数	受診者数	がん発見率	早期がん率
	男	女	進行	早期				
村上	8	3	3	8	11	8,217	0.134	72.7
新発田	18	6	15	9	24	11,937	0.201	37.5
新津	15	7	4	18	22	5,695	0.386	81.8
三条	30	27	21	36	57	21,062	0.271	63.2
長岡	13	16	7	22	29	12,327	0.235	75.9
魚沼	17	5	10	12	22	9,495	0.232	54.5
南魚沼	7	8	5	10	15	7,746	0.194	66.7
十日町	10	6	2	14	16	8,471	0.189	87.5
柏崎	18	9	9	18	27	8,041	0.336	66.7
上越	25	9	12	22	34	15,617	0.218	64.7
糸魚川	4	3	2	5	7	3,927	0.178	71.4
佐渡	7	3	4	6	10	5,072	0.197	60.0
新潟	20	11	12	19	31	65,114	0.048	61.3
合計	192	113	106	199	305	182,721	0.167	65.2

斜字は県平均よりも高い地域

図3 大腸がん累積生存率 (H5~H16年発見) (他病死、死因不明を除く)

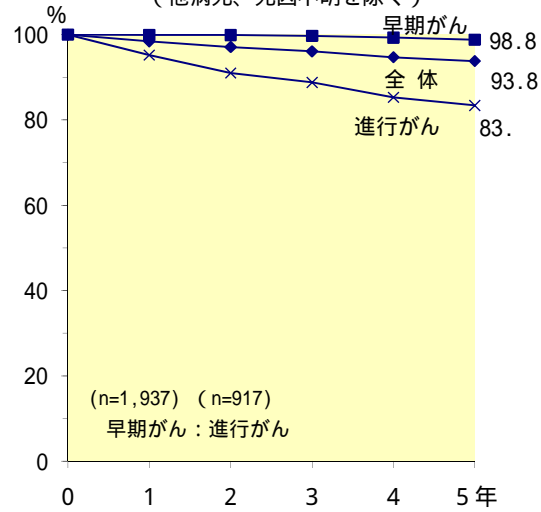
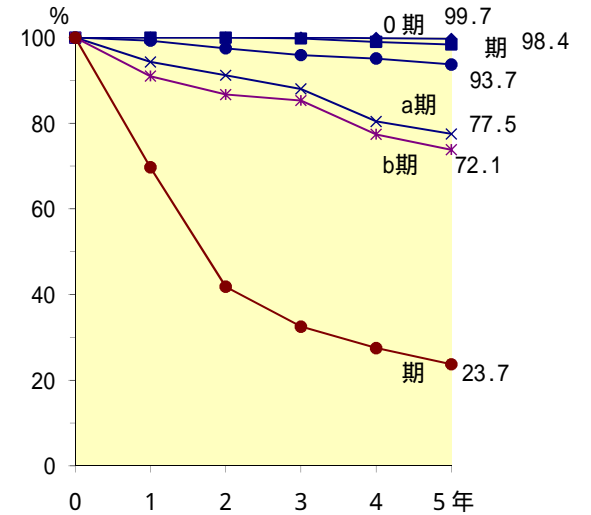


図4 病期別累積生存率 (他病死、死因不明を除く)



全体の5年生存率が93.8% (進行がんでも83.4%) で非常に予後が良い。

図1 がん発見率と早期がん率の推移

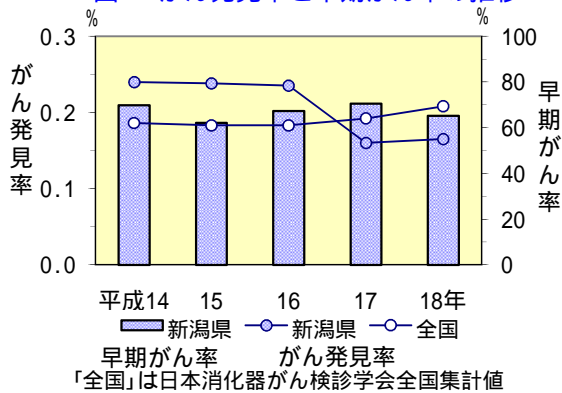


図2 初・再診別がん発見率

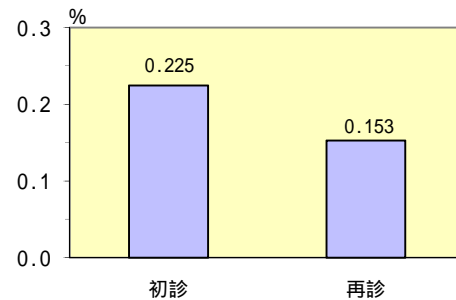


表2 発見大腸がんの予後 (H5~16年発見分)

平成19年12月31日現在

	生存	原病死	他病死	死因不明	転出	不明	計
数	2,680	139	135	87	34	3	3,078
(%)	(87.1)	(4.5)	(4.4)	(2.8)	(1.1)	(0.1)	(100.0)